

第5回 総合計画策定委員会 作業部会(第3・4作業部会) 議事要旨

■日 時：令和5年(2023年)5月10日(水)15:02~17:08

■場 所：本庁中層棟4階 第4委員会室

■出席者：福祉部次長(福祉総務室長兼務)、生活福祉室長、高齢福祉室長、障がい福祉室長、健康医療部次長(保健医療総務室長兼務)、健康まちづくり室長、健康医療部総括参事(地域保健課長事務取扱)、成人保健課長、母子保健課長、衛生管理課長
<事務局>行政経営部企画財政室 参事、主査

■資料

- ・資料1-1 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会設置要領
- ・資料1-1 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会作業部会設置基準
- ・資料1-3 第4次総合計画見直し・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定体制等(R5.4一部追加)
- ・資料2 第4次総合計画見直し・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール・本日の到達点
- ・資料3 第4次総合計画中間見直しの考え方(再整理)
- ・資料4 第4次総合計画基本計画改訂版素案(第5回作業部会時点)
- ・資料5 第4次総合計画基本計画改訂版素案 新旧対照表(第4回作業部会・第5回作業部会時点)
- ・資料6 第4次総合計画基本計画改訂版 見直し箇所一覧
- ・資料7 第4次総合計画基本計画改訂版 見直し箇所一覧(策定後の主な動向別)
- ・資料8 市民参画 主な意見
- ・資料9 SDGs バックキャストイング
- ・資料10 第4次総合計画基本計画改訂版 見直しポイント別施策指標一覧
- ・資料11 第4次総合計画基本計画改訂版 指標設定理由・根拠及び見直し理由一覧
- ・資料12 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況報告(R3まで)
- ・資料13 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案
- ・手持ち参考資料1 デジタル田園都市国家構想(内閣府・令和4年(2022年)12月策定)
- ・手持ち参考資料2 地域創生SDGs ローカル指標リスト
- ・手持ち参考資料3 SDGs スタディパネル

1. 開会

2. 案件

【報告】(1)~(2)(資料1、資料2)

【議題】(1)ア 中間見直しの考え方(再整理)(資料3)

【議題】(1)イ 検討(資料4、資料5)

ア) 中間見直し基本方針「策定後の主な動向」を踏まえた見直し（資料6、7）

主な意見

○中核市移行

- ・保健所で新規施策として公衆衛生の向上を挙げた。保健所が他の部署と連携して進めることができれば、中核市移行によるメリットとなるが、この数年、保健所は新型コロナウイルス感染症の対応で忙しく、連携が進んでいない。

○新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響

- ・健康づくりではデータヘルス推進の部分が新たに加わり、自身の健康づくり推進のための ICT の取組について新たに反映している。
- ・地域福祉では、大学生と高齢者を結ぶに当たり、ICT が適切なのか疑問である。対面で会えない期間に大学生から手紙を書いたことがあったが、それが高齢者にとっては励みになったという反応もあったため、アナログの取組も必要だと思う。
- ・ボランティアでいろいろな活動を行ってもらっていたが、活動しなくても何とかできるということが分かってしまったので、地域の活動は、対面を含めて元に戻していくイメージであるが、それを元に戻すのは難しい面があると考えている。

（事務局）アフターコロナの時期に策定する計画となるため、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた課題を解決していくための取組というのは、どの分野にもあると考えている。

○安心安全や環境への意識の高まり

- ・健康医療部内では災害時の訓練を積み重ね、マニュアルを整備したが、総合計画にどのように反映させるかが難しい。市民の平時の備えや避難所生活に対するイメージ等に対する啓発はまだこれからかと思う。
- ・健康観察・食中毒など、避難所の支援も健康医療部の大きな課題かと思うが、今は職員の訓練に留まっている。
- ・大阪府北部地震の際は大阪府の保健所と連携して業務に当たっていたが、中核市となり保健所が市の管轄となったことでそのような連携が更にやりやすくなる考えられる。

イ) 市民参画で得られた市民意見の素案への反映（資料8）

※各作業部会における指摘を受け、資料を差替え。ホームページ公開分の資料8については、差替え後の資料。

主な意見

- ・健康・医療のまちづくりが健都の取組であると市民にあまり浸透していないため、市民の評価が低いのではないか。
- ・職員と比べて市民の評価が低いということの問題視すべきか、ということも含め、課題の分析が難しいように思う。市民評価の順位が重要ではないか。職員は、関わったことがない部署の取組を適切に判断できているか疑問である。市民も、例えば子育てしやすいまちかどうかは自身が子育てしていないと分からない。回答者の属性を見ないと分析できないと思う。

(事務局) 3月に作成した「市民参画・周知の取組報告書」では属性別の分析も行っているため、参照していただき、総合計画に反映できることがあれば検討していただきたい。

ウ) SDGs バックキャストによる SDGs 推進のための施策の充実 (資料9)

主な意見

- ・ターゲット 14-4「乱獲をやめて、漁業の未来を守ろう」のローカル指標は「漁獲量及び養殖収獲量 (5か年平均)」となっており、「食育」が関連するというのはなぜか。
(事務局) グローバル指標を日本の状況に置き換えると、漁獲量の確保など魚への関心向上となる。そのため、食育がゴール達成に寄与すると解釈し、関連するとしている。
- ・高齢福祉室の取組だけで大綱3政策1が成り立っている中で、高齢者に係る全てのターゲットが大綱3政策1に関連するという点に違和感がある。ターゲット 4-6「みんなが、読み・書き・計算できる世界へ」という識字率の項目があるが、国で識字率の把握ができていない中で、市として検証が難しいものにまで該当しているとする点にも違和感がある。全体のバランスを見てどこまで関連すると整理するのかを揃えていかないといけないのではないか。
- ・現在の資料の体裁では、「各ターゲットに関連する事業で SDGs のゴールに向けた取組を進める」というような印象を受ける。資料の見せ方の検討が必要。

エ) 施策指標の見直し (資料10、資料11)

(意見なし)

【議題】(2) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略素案

ア まち・ひと・しごと創生総合戦略 第1期まとめ (資料12)

イ 検討 (資料13)

主な意見

- ・基本目標2に関連する総合計画の施策のうち、施策3-1-3「介護保険制度の安定的運営」は基本目標2に関連する施策としたらよいのではないかと。「生涯」に対する基本目標でありながら、高齢期の最後の方が抜けている印象。

3. その他(1)～(3)

以上